



山形県酒田市

酒田市船場町2丁目1-30
 担当課：健康福祉部健康課
 〒998-0036
 ☎0234-24-5733 FAX0234-24-5778
<http://www.city.sakata.lg.jp/>
 Eメール：kenko@city.sakata.lg.jp

本市のデータ



(1)面積 602.79km²

(2)人口 (人)

7国調	12国調	17国調	22国調	平27.10.31住基
122,536	121,614	117,577	111,151	106,896
65歳以上人口比率(22国調)				28.6%

(3)世帯数

7国調	12国調	17国調	22国調	平27.10.31住基
37,222	39,086	39,556	38,955	41,933

(4)沿革

平成17年11月1日 1市3町合併し酒田市となる。
 酒田市、八幡町、松山町、平田町が合併する。

(5)産業構造

区分	就業人口	就業人口	就業人口
	12国調	17国調	22国調
1次	5,874 9.4%	5,744人 9.9%	4,407人 8.3%
2次	20,660人 33.0%	15,874人 27.2%	13,487人 25.3%
3次	36,054人 57.6%	36,686人 62.9%	35,375人 66.4%
計	62,588人	58,304人	53,269人

本市の概要

酒田市は、山形県の西北部、庄内地方の北部に位置し、北は秀峰鳥海山を望み、東は出羽丘陵を背にし、南はほぼ庄内平野の中央に達し、西は日本海に面しています。鳥海山から発する日向川、山形県を縦貫する母なる川、最上川が、庄内砂丘帯を貫き日本海に注いでいます。また、酒田沖の北北西39Kmに浮かぶ飛島は、鳥海山とあわせ鳥海国定公園にしていされています。海洋性気候で、夏季は高温多湿、冬季は季節風が強く、庄内地域特有の地吹雪が発生します。

酒田市は、港湾都市として発展し、鳥海山、離島飛島、庄内平野の水田地帯など豊かな自然に恵まれ、歴史文化が薫るまちです。また、進取の気風、公益の心が息づくまちです。



支援に向けての取り組み状況

<対策の方針・目標>

<酒田市こころの健康づくりの目標>

新健康さかた21計画より(平成24年3月策定)平成24年～28年

重点目標・うつ病を予防しましょう。

- ・地域のつながりを深め、ストレスと上手に付き合いながら、充実した生活を送りましょう。
- ・ぐっすり眠って、すっきり目覚めましょう。

酒田市の自殺死亡率は、全国や県に比べ高いため、こころの健康づくり推進事業の中で、市民に向けて「こころの健康講座(ゲートキーパー養成)」を行っています。

市民一人ひとりが「私は心のサポーター」を目指します。

*山形県では「ゲートキーパー」を「心のサポーター」と称しています。

<具体的な取組み>

- 1 会議
こころの健康推進会議(健康づくり協議会と同時開催)
 - 2 こころの健康相談
「眠れない」「気分がふさぐ」「人と会いたくない」など精神的不安感のある方を対象に、無料で個別相談を行う。
精神科医師、精神保健福祉士が相談員。年間16回
 - 3 市民健康講演会
年に1回 心の健康づくりについての講演会を行い、普及啓発を図る。
平成20年度 「みんなで考える心の健康づくり～支えあう命と心～」秋田大学 金子善博氏
平成21年度 「心の健康づくりと自殺予防～身近なつながりを見直してみませんか～」
秋田大学 佐々木 久長氏
平成22年度 「気づいてますか うつのサイン～睡眠とうつの関係～」
東谷メンタルヘルス研究所 東谷 慶昭氏
平成23年度 「今、なぜ支えあうつながりを求めるのか～自殺のない社会を目指して～」
群馬医療福祉大学 福山 なおみ氏
平成24年度 「眠りでほぐす こころのSOS」富士ゼロックス産業医 相良 雄一郎氏
平成25年度 「ストレスに負けないこころの処方箋」臨床心理士 品川 博二氏
平成26年度 「レジリエンスの心理学～ストレスに負けないこころの持ち方～」臨床心理士 品川 博二氏
平成27年度 「自殺のない生き心地のよい社会へ～地域のつながりが命を守る～」
ライフリンク代表 清水 康之氏
 - 4 こころの健康講座の開催
保健師等が地区に出向き、講座を開催し「ゲートキーパー」の役割やこころの健康づくりについて普及啓発を行う。平成22年度から実施。毎年20回～40回、年間600人～1000人受講
 - 5 民生委員、食生活改善推進員等を対象に、心の健康講座
 - 6 企業への心の健康講座
 - 7 酒田市職員ゲートキーパー研修 3年間で全職員が受講(平成23年度から25年度)
 - 8 担当者研修会 保健師等の資質の向上のために平成22年度から毎年開催。
平成25年度からは社会福祉協議会職員も参加を呼びかける。
 - 9 心の健康づくりキャッチコピーの看板の掲示
「眠れない…は心のSOS 一人で悩まず相談を」平成23年市役所に掲示、平成25年度市民健康センターに移動
-
-
- 10 心の健康づくりキャッチコピーを福祉乗合バスに掲示
「眠れない…は心のSOS 一人で悩まず相談を」平成24年から3台のバスが市内を巡回
 - 11 心のサポーター養成講座(6回～7回の連続講座)平成26年度から
山形県では、ゲートキーパーを心のサポーターとして称しているため、心の健康づくりに関する連続講座を開催し、人材育成を行う。広報等で募集し50名以上の申し込みがある。
 - 12 傾聴スキル研修会(3回連続講座)平成26年度から
傾聴について学び、実践できる人材を育成する。広報等で募集し20～30名の申し込みがある。
 - 13 心の健康づくりの普及啓発
市広報、市ホームページ、酒田FM放送を活用する。
酒田市独自でリーフレットを作成し、健康教育で活用する。

